

会 議 録

1 会議名

令和2年度第6回中郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）協議（公開）

自主的審議事項について

（2）その他（公開）

4区合同研修会について

視察研修会について

「地域協議会だより」の配布について

「もっと知りたい 地域協議会」の配布について

「まちづくり市民大学」の配布について

「無印良品の移動バスがやってきます」の配布について

3 開催日時

令和2年9月24日（木）午後6時00分から午後7時30分まで

4 開催場所

中郷コミュニティプラザ ホール

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委 員：荒川清尊、岡田龍一、後藤一枝、高橋京子、高橋達也、竹内昭彦、竹内靖彦、宮川昇藏、村越勝彦、陸川昇一、陸川陽一

・事 務 局：名倉浩中郷区総合事務所長、高波義明次長（総務・地域振興グループ長兼務）、宮尾広幸市民生活・福祉グループ、教育・文化グループ長
総務・地域振興グループ 内田明浩班長、田村結花主事

〔 以下、総務・地域振興グループは総務G、市民生活・福祉グループは市民G、教育・文化グループは教育G、グループ長はG長と表記 〕

8 発言の内容（要旨）

【内田班長】

- ・会議の開会を宣言

【竹内（靖）会長】

- ・挨拶

【内田班長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【竹内（靖）会長】

- ・会議録確認：「荒川清尊」委員と「後藤一枝」委員に依頼。
- ・協議事項(1)の自主的審議事項について協議を行う。

【竹内（靖）会長】

先回の協議会で4つの部会を作って、それぞれ協議をお願いしてあった。協議結果について資料1にまとめたので、それを確認しながら各部会の班長より説明いただきたい。では1班だが、夕日ヶ丘整備事業に関することということで協議した。伐採工事、石碑の洗浄・説明看板、遊歩道の整備、場内の案内看板については実施することとした。ただし、安全柵については、杭を打ってトラロープを張ることは自前でもできるので外すこととした。あと、スノーモービルだが、市の予算に計上予定をしているので、一旦ここからは抜いて市の動向を見ながら計画することとした。また、友情の森の話が中学生との意見交換の時に出ていたので、何とかしてやりたいと思い東屋の設置を検討したが、高額となったので今回の事業の中には入れていない。

【陸川（昇）委員】

2班は桜の植樹に関する事で各現場で検討したが、まず、中郷中学校は植樹が2本、伐採、伐根も2本でよいのではないかと判断した。西側にも植樹されているが、かなり樹木が傷んでいたので維持管理が必要ではないかと思った。次に、二本木駅だが、場所的に狭く、隣接する住宅もあるので、植樹を4本、伐採、伐根を2本とした。

次に、松ヶ峯観光道路の方だが、現状の雑草等がひどく、今の状況で植樹は難しいと感じた。まず、維持管理をしてから植樹したほうがよいと思う。あと、植樹してからの維持管理も考えていかなければならないと感じた。

【高橋（京）副会長】

3班は縄文公園の整備に関する事であるが、最初に中学生との意見交換会で提案

のあったキャンプ場だが、テント等宿泊施設を提供するには営業許可が必要になったり、環境基準法等によりゴミの管理についての対応もあつたりで、なかなかキャンプ場としては問題があり、難しいとの判断に至った。ただし、既存の東屋はあるが、かまどがあるスペースの方には無いので、休憩スペースということで東屋くらいは設置してもいいのではないかと話があり、見積を徴集したが高額であることが分かった。現在の見積もりは木製でみているが、擬木としたらどうなるのか、もう少し値段を下げられるのではないかと思うので、再度見積もりを取ることにした。次に、モニュメントの説明看板だが、文字が読めない状態となっているので更新を行うこととする。ただし、建設当時から年月が経っているので書いてある内容が古い場合があるので、内容の精査が必要である。次に、東側の入口には案内看板が無いので、案内看板を設置することとする。また、西側の入口の案内表示と公園入口の土偶の下に書かれている文字が薄くなっているため別途対応が必要である。あと、直接は関係ない竪穴式住居のことだが、今建っているものについては取り壊して、位置を移動して公園の奥に縄文広場があるがそこに復元する予定である。ただし、了解が取れていないので関係部署に確認が必要である。まとめると、縄文公園の整備については、モニュメントの説明板の更新と入口の案内看板の設置、竪穴式住居の説明看板に東屋の設置である。

【村越委員】

4班は講演会に関することだが、テーマはいろいろあるがやはり「未来の子ども達・・・」のために使うお金なので子ども中心で中学生、20代前後の人をターゲットに教育関係を中心に考えている。ある程度候補者を絞って、中学生にアンケートを取る方向で進めていきたいと思っている。ただ開催時期が令和4年なので、今から講師の予定といっても難しいため、来年以降に日程等を詰めていくように進めていく。

【竹内（靖）会長】

ただ今、4班に分かれて協議した結果を説明していただいた。これより班ごとに質疑を受けたいと思う。まず1班の夕日ヶ丘整備事業に関する事について質疑を受ける。

【宮川委員】

遊歩道の芝張りだが、芝を張る範囲はどこか。

【高橋（達）委員】

現在ウッドチップを敷いている箇所は南側と北側の下っている斜面をメインに予定

している。伐採の方は、今回の見積もりの予算の中で行うこととするが、現地についても細かく精査したいと考えている。

【竹内（靖）会長】

特になければ次に、2班の桜の植樹に関することについて質疑を受ける。

【高橋（達）委員】

試算では、中学校で植樹2本の伐採・伐根2本、二本木駅では植樹が4本の伐採・伐根が2本、本数的には二本木駅が多いのに金額が中学校の方が高いのはなぜか。

【内田班長】

中学校の方が木が太いので伐根費用が高くなる。伐根費用は重量で考えているため木の大きさにより変わる。

【竹内（靖）会長】

そのほかに、本数的に意見はないか。

【陸川（昇）委員】

現場を見たが、中学校については、桜以外の他の木も植わっているので、今の桜を伐採して、その後に2本植えることしかできないのではないか。二本木駅については、駐車場側になるが2本を伐採して、先ほどは4本と提案したがスペース的に成長すると枝が重なると思われるので3本くらいの植樹にしておいたほうがいいのかと思う。

【高橋（京）副会長】

縄文公園の整備を担当しているので、その関係から聞くが、縄文公園の西側の入口に桜を植樹したらどうかという話があったかと思うがどうか。

【陸川（昇）委員】

その場所も確認したが、草が生えていて荒れている状態で、そんなところに植樹だけ行っても問題があると思った。我々としては、そこまで手を伸ばすより、まず、中学校と二本木駅を行った後、桜の木の管理方法と併せて植樹を検討していく方向でいいのではないかという結論に至った。

【高橋（京）副会長】

了解した。ただ縄文公園の整備の担当として、こちらの事業で取り組んだ方がいいのかもしれないので検討の余地はあると考える。いずれにしろメインの入口があのような状態ではよくはないと思うし、植樹をするしないにかかわらず改善は必要だと思う。現在も縄文公園の管理はされているので、入り口部分も含めた管理がされるとい

いのではないかと思っている。

【竹内（靖）会長】

今の件について縄文公園の整備と桜の植樹とラップする部分があるので、縄文公園整備の方に桜の植樹も入れて予算の範囲で考えさせていただく。あと、縄文公園の整備の方で説明があった東屋だが、高額となっているが、いろいろ調べた結果、会社による経費の部分もあるが、大体妥当な金額である。現在は木製もので見積もられているが、擬木になるともっと高くなることが分かっている。値段を下げるとなると大きさを小さくしていくことしかないと思われる。その他に何かあるか。

【高橋（達）委員】

縄文公園の関係で普段であれば十分足りると思うが、イベントを行うと駐車場が足りなくて路上駐車となってしまう。以前は、空き地に仮の駐車場を設けたこともあるのでその辺も検討してはどうか。

【竹内（靖）会長】

何年か前に桜を楽しむ会とかで使用したときは、仮設駐車場としてお願いしたことがあった。その辺については、イベントを行う際に考えていきたいと思う。

【荒川委員】

今言われた通り駐車場はあった方がいいと思うが、土地の所有者が地元にいないため難しいと思われる。

【竹内（靖）会長】

夕日ヶ丘整備事業、桜の植樹、縄文公園の整備については、事業執行されたとしても、その後の管理という問題が必ず出てくる。そういう面も含めて内容をもう一度見直していく必要もあるが、時間的なものもあるので、この3事業については、今回の協議内容を一つのたたき台として、次のステップに挙げたいと思うがよいか。

・・・全員賛成・・・

【竹内（靖）会長】

4班で協議している講演会に関することだが、事務局と協議した中で、この案件がこの先どのような扱いになるのかが不明で、例えば中郷限定でできるのかとか、事業を進めていく中でいろんな縛りが出てくるのではないかと不安な部分が出てきた。勝馬基金の条例では中郷区の福祉、環境、教育に使用する分には問題はないとされているが、これがこの先続けていく中で本当にできるのか心配がある。岡田委員を中心とし

た話し合いを無駄にしないように進めていきたいので、勝馬基金だけではなく、他の手段についても検討してはどうか。例えば、「地域活動支援事業」や「地域を元気にするために必要な提案事業」なども活用可能ではないか。

【竹内（靖）会長】

「地域を元気にするために必要な提案事業」について事務局より説明願いたい。

【内田班長】

これは、まず、住民組織や住民との意見交換により把握した課題について対応していくもので、その課題について自主的審議事項として協議し、その課題解決のために住民と一緒に解決していくこととなる。今回のような「講演会」の部分については、「地域を元気にするために必要な提案事業」で対応するのは合わないのではないか。

【竹内（靖）会長】

そうすると、もし他の手段で行うとすれば「地域活動支援事業」を使うのが妥当かと思うがどうか。

【高橋（達）委員】

あくまでも地域を元気にするために、未来の子ども達がいつまでも住み続けたいまちづくり、地域づくりという形で教育に関するのかは未定だが、そういう意味で講演をしてもらうことから、提案事業での開催も可能ではないか。

【村越委員】

上越広域にPRするのではなく、中郷区のみPRとして行えばいいのであれば、その方向で考えればいいし、調整は可能であると考えてる。

【陸川（陽）委員】

この間の会議でも出たが、市民全体ではなく、中郷区優先で開催場所をは一とびあ中郷で考えているが、区外の方が見たいとなった場合は、例えば動画で配信するとかで行えば特段問題はないと考えていた。実施できるのであれば、勝馬の基金で行うのが一番いいかと思う。

【竹内（靖）会長】

この件については、もう少し踏み込んだ中で、事務局の方で再度確認をお願いしたい。他に何かあるか。

【竹内（昭）委員】

東屋の件だが、もう少し簡易的なテーブルとイス程度のものでもいいのではないか。

【高橋（京）副会長】

季節によってパラソルを出したり、椅子を出したり、また、それを長期に渡り野ざらしにしてもいいものかなど維持管理の面で問題も出てくる。冬場についてはどこかに格納しなければならないし、それを管理する者もない。雪に負けないものがあれば一番いいが、難しい面もある。

【竹内（靖）会長】

竹内（昭）委員の意見もわかるが、簡易的なものの持続性を考えると、長持ちしないというところから東屋にしようということになっているんだと思う。他にないか。

【竹内（靖）会長】

次回10月の協議会ではもう少し、しっかりとした事業費を積算した中で皆さんに提示したいと考えている。ただし実際に事業を行うのが令和4年度となるため、物価上昇分なども含めた形で精査したいと考えている。ただし、事業内容の明細については、本日のとおりとさせていただく。

【竹内（靖）会長】

特になければ、協議事項（1）自主的審議事項については、これで閉じることとする。
事務局他に何かあるか。

【内田班長】

- ・4区合同研修会について報告
- ・視察研修会について報告
- 「地域協議会だより」の配布について
- ・「もっと知りたい 地域協議会」の配布について
- ・「まちづくり市民大学」の配布について
- ・「無印良品の移動バスがやってきます」の配布について

【竹内（靖）会長】

委員の皆さんから、何かあるか。

【高橋（京）副会長】

この無印良品の移動バスについて広報等で周知しているがなぜか。

【名倉所長】

無印良品を紹介するということもあるが、地域の活性化、市民サービス向上のため中山間地で買物ができない人のために来ているという目的があるので紹介している。

【竹内（靖）会長】

地元商店街の人がこのようなアクションを起こした時に、広報してもらえるのか。

【名倉所長】

中郷区で行っているイベントなども放送しているので、皆さんの取組について協議してもらえば前向きに考えたいと思う。

【竹内（靖）会長】

高齢者支援とか買物弱者支援などの取組は上越市も後押しをしている部分もあると思うので、このような取組も効果ができればいいと思う。他にないか。

【竹内（昭）委員】

岡川町内会の田んぼが演習場内にあり農道の草刈などは届けを提出して行っているが、門番に話が通っていないため、その都度、入場の目的などを聞かれ、時間が掛かってしまう。ひどい時は小銃を抱えたままの時もあり、非常に違和感を感じている。そんなことがあったので、自衛隊内の指揮系統を確実に行うよう注意してほしい。

【竹内（靖）会長】

私も1点お願いしたい。勝馬基金の関係でかなり時間を費やしてしまい、地域の中の課題はたくさんあるのに対応出来ていない。その中でも何年も前から疑問視しているのがスクールバスである。昔からの条例によりスクールバスに乗れない子どもがいる。特に冬は、ガード下から日曹工場あたりは緊迫した中で歩いている姿を見ると、何か改善策はないか地域協議会で協議していくべきだと常日頃思っている。

スクールバスの条例については、私も勉強不足で全てを把握しているわけではないが、村時代に作られた条例がそのまま継続されているのであれば、合併して子どもの数が減り、非常に危険な部分が増えている中で、条例を見直して小学生の通学路に関しては何らかのケアをしていかないとだめかと思っている。全員スクールバスに乗せてほしいというのが根本的な結論だが、それはなかなか即実行ということにはならないと思う。極論を言うと、それくらいの時期に来ているのではないかと思っている。小学生の下校時間は保護者が迎えにいけるような時間ではないし、小さな子どもが1人で歩いている姿をよく見る。中郷区では、今まで事故とか事件が無いので「中郷区は安全だ」で話は終わってしまうが、通学路を選ぶことが出来ないのであれば、その他の安全策を考えるのが最優先されると考える。スクールバスの条例を我々委員の中で勉強し、市に要望できるものがあれば要望していきたいと思う。

勝馬基金の自主的審議事項と併せて、少し議論を深めたいと思っているので、皆さんの意見を伺いたい。

【高橋（達）委員】

何年か前、冬場のガード下の付近が非常に危険な状況となった時も児童が歩いている状況だった。早急に何らかの対応が必要だとの意見も出ていたので非常にいいと思う。時間がかかる問題なので早期に自主的審議事項として挙げていってはどうか。

【岡田委員】

スクールバスの件に関連して、スクールバスとしてだけではなく、公共交通を含めた使い方も一緒に議論してはどうか。

【竹内（靖）会長】

一緒に議論は出来るが、思いの矛先が違う。まず第1に子ども達の通学の安全確保という意味でスクールバスを議論したい。先ほども結論的なことも言ったが、子ども全員をスクールバスで下校させたいぐらいの気持ちがあるので優先させたい。岡田委員が言われるのは、スクールバスを使用しない時間は公共交通として使用したり、高齢者支援だったり、まちづくりの観点からの話だと思うので、それはまた行政と確認しながら行っていくこととする。

【陸川（陽）委員】

私の家にも中学生がいて、下校時は迎えに行ったりしているが、部活の帰りに迎えの車が集中して、歩いて帰る子ども達もいるので危険な状況にもある。また、住宅もあるので迷惑しているのではないかと思うので、小学校のほか中学校も何かしらの対策が出来ればいいと思う。

【竹内（靖）会長】

他に発言がないため、これをもって、本日の会議を終了する。

次回の会議は、10月28日(水) 午後6時00分から、「中郷コミュニティプラザ」で行うこととする。

(終了 午後7時30分)

9 問合せ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0255-74-2411 (内線 165)

E-mail : nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。